

乙 第 号

切畑屋 友希 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

## 論文審査の要旨及び担当者

	委員長	教授	佐伯 圭吾
論文審査担当者	委員	講師	鳥本 一匡
	委員(指導教員)	教授	庄 雅之

主論文

Impact of pretreatment asymptomatic renal dysfunction on clinical course after esophagectomy

食道切除後の臨床経過に対する無症候性腎機能障害の影響

Yuki Kirihataya, Kohei Wakatsuki, Sohei Matsumoto, Hiroshi Nakade, Tomohiro

Kunishige, Shintaro Miyao, Masayuki Sho.

Surgery Today. 2021 Jan;51(1):165-171.

## 論文審査の要旨

本研究は、食道がん術前に無症候性腎機能障害（ $eGFR < 55 \text{ ml/min per } 1.73 \text{ m}^2$ ）を有する者で、術後の重症合併症のリスクが有意に高いことを示した後ろ向きコホート研究である。手術前に無症候性腎機能障害がみられた患者 17 名と、それ以外の 160 名を、術後 60 か月にわたってフォローした。無症候性腎機能障害あり群の Clacian-Dindo 分類 IIIb 以上の重症合併症発症リスクは有意に高かったが（ $p = 0.02$ ）、累積生存率は低いもの、その差は有意ではなかった（ $P=0.08$ ）。

これまで他のがんの術後合併症と無症候性腎機能障害との関連に関する先行研究はあるものの、食道がん手術に関しては、本研究が初めての報告となる。本研究で得られた知見は、術後管理のみならず、治療法選択や患者説明にも有用な知見であると考えられる。

公聴会では、手術適応を考える際の  $eGFR$  以外の因子、 $eGFR$  低値の症例が少数である理由、合併症低下に向けての手術方法の変遷、手術以外の治療法のリスクおよびデメリット、 $eGFR$  カットオフ値の設定根拠、多変量分析における残余交絡について、両群間での他病死率の差、腎機能低下が免疫系に及ぼす具体的な機序等について質問がなされ、いずれも深い洞察のもと、適切な回答がなされた。

以上より、本研究は博士（医学）の学位に値すると評価できる。

## 参 考 論 文

1. Parenchyma-Sparing Hepatectomy with Vascular Reconstruction Techniques for Resection of Colorectal Liver Metastases with Major Vascular Invasion.  
Saiho Ko, Yuki Kirihataya, Masanori Matsusaka, Tomohide Mukogawa, Hirofumi Ishikawa, Akihiko Watanabe.  
Annals of Surgical Oncology. 2016 Aug;23(Suppl 4):501-507.
2. Retrocaval liver lifting maneuver and modifications of total hepatic vascular exclusion for liver tumor resection.  
Saiho Ko, Yuki Kirihataya, Yayoi Matsumoto, Tadataka Takagi, Masanori Matsusaka, Tomohide Mukogawa, Hirofumi Ishikawa, Akihiko Watanabe.  
World Journal of Hepatology. 2016 Mar 18;8(8):411-20.
3. Ileo-ileal fistula with severe malnutrition caused by strangulated ileus surgery while preserving ischemic ileum: A case report.  
Satoshi Nishiwada, Shinji Nakamura, Tetsuya Tanaka, Yuki Kirihataya, Daiki Nezu, Nobuhiro Sawa, Naoki Fujita, Haruka Ikegami, Atsushi Yoshimura.  
International Journal of Surgery Case Reports. 2018;43:4-8.

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに消化器機能制御医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和3年3月9日

学位審査委員長

疫学

教授 佐伯 圭吾

学位審査委員

泌尿器病態機能制御医学

講師 鳥本 一匡

学位審査委員(指導教員)

消化器機能制御医学

教授 庄 雅之